

目次

創業者の想い～働きさんの幸福を願って～ 2

令和6年度健康づくりカレンダー 3

令和5年度決算と事業報告 4

ダスキン健康保険組合設立50周年記念鼎談
創業者の想いをこれからも
「コラボヘルスの取り組み」を語る 6

マイナ保険証での受診が始まっています！ 11

令和5年度　ダスキン健康保険組合
事業所別　健康白書 12

保健事業
生活習慣改善プログラム 19

オンライン禁煙プログラム 20

重症化予防プログラム 21

補助金制度（がん検診・部位検診） 22

がんに関する相談先・制度など 24

健康診断の結果を放置しないで！ 25

2024春「みんなで歩活」開催報告 27

「kencom」登録状況 29

特集：頑張っている眼と耳のこと見直して！ 30

INFORMATION 32

令和6年8月31日現在の当健保の状況は、下記のとおりです。

事業所数※	27事業所	平均標準報酬月額	282,697円（21等級）
被保険者数	7,158人（男性3,356人 女性3,802人）	健康保険料率	1000分の110.3（令和6年度料率）
被扶養者数	3,244人（男性1,129人 女性2,115人）	介護保険料率	1000分の18.5（令和6年度料率）
扶養率	0.45人／1人		

※被保険者は、当健保に加入している働きさん本人のことです。

創業者の想い

～働きさんの幸福を願って～

ダスキン健康保険組合の設立は昭和49年。
当時は働きさんが約500人で、売上が約146億円、営業利益が7.7億円という時代でした。
当時、そのような規模で健康保険組合を作るとするのは稀なケースであったと言えます。
創業者はどのような想いで健康保険組合を設立したのか、健保ニュース創刊号にて語られています。



ダスキン健康保険組合設立にあたって

創業者 鈴木 清一

ダスキン健康保険組合が、昭和49年4月1日付けをもって正式に厚生大臣より認可されました。ここにダスキン健康保険組合が陽の目を見ましたのも、ひとえに大阪府の保険課長、課長代理、組合係長、主任を始め、連合会の専務理事、事務局長、健保連・鳥山委員長（サンヨー連合厚生年金基金理事長）健保連の大隈会長代理（三洋電機連合健康保険組合理事長）更に厚生省の保険局保険課のみなさん、そして推進委員としてお世話になった大阪変圧器健保の河野常務理事ら、その他多くの人のみなさま方のお力ぞえのたまものだと思います。そもそも“祈りの経営”ダスキンとしての健康保険組合設立のきっかけを申し上げますと、ちょうど一年前“クローバ会”からの希望や“喜びの提案”からの働きさんのご希望もありましたが、なによりも働きさん一人一人が本当に幸福になってほしい。しかも働きさんご自身だけでなく、ご家族の方も含めて…。それにはどうすればよいだろうか？働きさん一人一人の幸福を願って設立へのスタートをきったのが健保組合であり、厚生年金基金でもあります。家族ぐるみでの働きさんの健康と管理。また、ダスキンのように北海道から九州までチリヂリバラバラになっている働きさんのためにもどうすればよいか？それにはやっぱり健康保険組合を設立することだと思います。ひいてはそれが働きさん一人一人の福利厚生につながるとともに、疾病予防によって疾病による企業損失の防止にもつながるものだと思います。健康で心も豊かな生活一、どうか働きさん一人一人がこれを機会に健康管理に注意され、生きがいのある人生、喜びのタネをまく素晴らしいダスキンライフをたのしんでいただきたいと思います。



健保ニュース創刊号（昭和49年6月発行）より抜粋